

や ざっくばらん矢祭

2025 年 9 月 No: 3 - 44

編集・発行

矢祭ふるさと会事務局

〒204-0002 清瀬市旭が丘1-269-42

TEL 090-2752-2973

FAX 042-495-4183

ふるさと訪問一泊旅行・元気祭り(2025年11月2日～3日)お誘い

コロナの流行以来ふるさと訪問旅行を控えてまいりましたが、しばらくぶりに計画しました。

足腰が弱ってきた等会員の皆様の高齢化や社会の変化により、外に出かけることがめっきり少なくなっていますか？ 少しの運動と友人たちとの楽しい矢祭弁でのお喋りで笑ったり、思い出話に花を咲かせたりと、この機会にご参加してはいかがでしょうか？ 常磐線水戸駅からはユーパル矢祭手配のバスが迎えに来てくれます。

※旅行詳細 11月2日(日)各自切符購入

① 上野駅(8番線) → 常磐線水戸駅 → 滝川の里(昼食) → 矢澤酒店カフェ → ユーパル矢祭

9:00特急ひたち(指定席) 10:16着 改札口集合 12:15 13:40 14:00 14:50 15:00:着

上記特急券は3,890円 下記普通券2,310円 水戸駅改札口10時30分集合

② 上野駅(10番線) → 常磐線水戸駅(主な途中停車駅は日暮里・松戸・柏・我孫子・取手)水戸駅で合流

8:17普通勝田行 10:29着 8:21 8:39 8:52 9:00:

※旅行詳細 11月3日(月)各自切符購入

ユーパル矢祭 → 水戸駅 → 上野駅

14:00: 15:40 16:27 特急ひたち7番線 17:37

16:31 普通 5番線 18:33

申込締切

10月5日

最少催行人数

8人



矢沢酒造社長、緑川、深谷、立花

※参考 一泊二日食事付き一人12,000円、鉄道運賃と昼食代は個人払い

・ 特急ひたち片道3,890円 普通片道2,310円

申込はふるさと会事務局深谷まで TEL090-2752-2973又はFAX 042-495-4183

第22回kikuri展 令和7年11/9(日)～11/15(土)

有楽町交通会館B1階

ギャラリー玻璃11:00～18:00

会員の菊池利次さん(埼玉県杉戸町在住)の個展である第22回kikuri展が 令和7年11/9(日)～11/15(土)、有楽町交通会館で開催されます。

皆様お誘い合せの上、ご覧になるのもよし、交渉して買うのも大歓迎です。菊池さんの力作を是非ご覧ください。

出来れば、11月15日に皆様と一緒に行ければと思います。会場に午後1時にお集まりください。終了後たつや南店に行く予定別の日にゆっくりとご覧されたい方は、ご自由にお出かけください。 ※一緒に行かれる方は事務局(深谷まで)連絡ください。



お近くの直売所に、来らっしょ!! コロナ禍で開催が不規則ですので、確認の上おいで下さい。

※開店は9:30～10:00から15:00頃迄、売切れ次第終了。

東北最南端の小さくても大きな町の農産物直売所

首都圏
[矢祭もっ
たいない
市場]の
農産物
直売所

- 毎月第2・第4日曜日【武蔵小山温泉 清水湯駐車場】品川区小山3-9-1(東急目黒線 武蔵小山駅東口徒歩5分)
- 毎月第3日曜日【城南信金大井支店】品川区大井1-6-10(JR京浜東北線 大井町駅徒歩1分)
- 毎月第1日曜日【城南信金品川支店】品川区南品川1-4-25(京浜急行 新馬場駅徒歩7分)
- 毎月第4水曜日【三島神社境内】台東区下谷3-7-5(地下鉄日比谷線 入谷駅4番出口より徒歩8分)
- 毎月第2水曜日【千束稻荷神社境内】台東区竜泉2-19-3(地下鉄日比谷線三ノ輪駅下車徒歩5分)
- 毎月第1・3火曜日【昭和橋商店会】江東区亀戸6-43-1(JR総武線亀戸駅東500m/都営バス亀戸六丁)



お問合わせ 矢祭町特産品開発協議会 ☎0247-46-3272

〒963-5118矢祭町大字東館字館本52

矢 祭 町 特 ダ ネ 情 報

この情報は矢祭町佐川正一郎町長と役場からいただきました。

■矢祭町幕末に活躍した地元出身の幕臣、吉岡良太夫(よしおかごんだゆう)の絵本制作

矢祭町は地元出身で江戸の幕末に幕臣として活躍した吉岡良太夫を紹介する絵本を制作し、こども園など町の施設に佐川町長から贈呈されました。絵本は矢祭町が地元出身の偉人、吉岡良太夫を子供たちや



町民に知ってもらおうと制作しました。

吉岡は幕末に江戸幕府を支えた幕臣で、日米修好通商条約を結ぶために、勝海舟や福沢諭吉らと共にアメリカに渡った使節団の一員として活躍し、絵本では使節団の航海の際に正義感の強さから、船上での決まりを守らなかったアメリカ人船員を厳しくたしなめたエピソードが紹介されています。

また、その後の戊辰戦争では、徳川家に仕える武士として忠誠を誓ったことなども紹介されています。絵本は町内の小中学校などにも配られ、電子書籍として誰でも町のホームページで見ることができるといことです。

佐川町長は「矢祭町の偉人の絵本からその時代の歴史や、人との出会いやつながりの大切さを知ってほしい」と話していました。

■令和7年度矢祭町人づくり講演会

「姿勢と勇気が近代日本を作った」

2025年7月27日(日)、矢祭町のユーパル矢祭にて、「ふるさと人づくり講演会」が開催されました。町が推進する「ふるさと人づくり事業」の一環として、歴史を学び、未来を考える機会を町民に提供することを目的とした催しです。当日は約200名が来場し、熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。開会にあたり、佐川町長は「幕末から明治にかけての日本は、アヘン戦争や南北戦争という世界の激動の中にあり、植民地化の危機と隣り合わせだったと語り、「その困難な時代を乗り越えたのは、志を持って行動した幕臣たちの姿勢と勇気だった」と力強く述べました。

そして、「歴史に学べば、素晴らしい国づくり・町づくりは必ずできる」と訴え、教育と人材育成を町の根幹に据える意義を明確に示しました。

続いて登壇した昭和女子大学の遠藤由紀子教授は「幕末明治期に海外を経験した豪傑たち」というテーマで講演。勝海舟や福沢諭吉、威臨丸で渡米した先人たちの事例に加え、女性たちの先駆的な活躍にも光を当てました。

なかでも、津田梅子と大山捨松の生涯が紹介され、聴衆の注目を集めました。若くして米国に留学し、帰国後は教育や女性の社会参画に尽力した二人の姿に、現代を生きる私たちが学ぶべき勇気と使命感があると遠藤氏は語ります。単に歴史を知るだけでなく「何のために学び、どう生かすか」という視点が求められていると強調しました。

また、講演には威林丸乗組員の子孫の方々も登壇し、パネルディスカッションを実施。太平洋を初めて渡った日本人たちのエピソードが、まるで今のように語られることで、歴史が“”遠い過去の話””ではないことを改めて実感させられました。

講演を通じて繰り返されたメッセージは「誠実に学び、勇気をもって行動した先人たちがいたからこそ、今の日本がある」ということ。そして、その姿勢こそ、災害や国際的な課題の多い現代において最も必要な力であるといことです。

佐川町長の「姿勢と勇気が近代日本を作った」という言葉が象徴するように、この講演会は町民にとって、自らのルーツを再発見し、未来へのヒントを得るかけがいのない時間となりました。

矢祭町が掲げる「人を育てる町づくり」は、こうした学びの積み重ねによって着実に前進していると感じさせられます。

